

# ACTION

● 震災・原発をめぐって

## オリジナルソング

### 「光のほうへ」

作詞作曲

女たち・いのちの進行実行委員会

いのちの平和に 原発はいらない  
いのちの平和に 戦争はいらない  
いのちの平和に 差別はいらない  
みんなで歩こう 光の方へ  
あなたと私で 世界を変えよう

## <プログラム>

1時～ 希望のフェス (メッセージとライブ)  
安積宇宙さん、高里鈴代さん、平田幸さん、朴慶南さん、荒井祐子さん、カンベンガ・マリールイズさん、ノーマ・フィールドさん。

アイヌ舞踊・レラの会、古代フラ・水野みさをさん&虹の天の鳥たち、歌=こぐれみわぞうさん、寿 [kotobuki] ナビィさん&ナグシクヨシミツさん、李政美さん&竹田裕美子さん、向島ゆり子さん、矢野敏広さん、司会=ゼロノミクマ。

3時半～ ゆっくりウォーク (デモ)



撮影 島田恵

まで「主催団体なし、発起人なし」「主催は一人ひとりの女性です」で通した。口コミで全国から集まった呼びかけ人は600人に達した。

委員もいち個人なら参加者もいち個人。会場には有名な方の顔もみえたが、特別な紹介はなし。皆一緒に高い天井の会場でイベントを見て笑い、両手を泳がせて踊った。一緒にトイレで化粧を直してデモ行進。カメラには底抜けの笑顔ばかりが残っている。

### ■失意の中だからこそ「理想のデモを」

事務方として委員に加わった私は、最終段階で「このイベントは反原発運動で疲れた女性たちが、自分たちを含むすべての女性たちのために作った」「続けていける」「プロテストの形なのだ」と知った。本音では皆原発を止めたいと思っているのに、少しも前進できない。それでも抗議は続けなければならぬ。元気を取り戻して参加女性と分ち合うため、「自分も参加したいイベント」を作り上げたのではない。

しかしそういう背景は外向きにはことばにされなかった。細かな事情を表現するのが難しく、疲れていたのだと思う。一因が1月の東京都知事選。委員も細川派と宇都宮派の2つに別れ、割られて敗れる悔しさをまた味わい、事後、デモについても「主催者は1人1人の女性」という以外、無言になった。

これが原因してかマスコミ取材は少なかった。しかし、呼びかけ人やチラシから内容を知った女性たちは「現状を変えたい女性のための楽しいデモがあるらしい」と、ただ体験するために、福島から、北海道から九州沖縄から集まってくれた。結果として会場に満ちたのは開放感と明るさ、静かな連帯感。事後には「今まで出たどのデモより楽しかった」という声が寄

せられた。きらきら光る1日だった。

### ■欲しい物はこの手でつくりだせばいい

アットホームなイベントでもあった。話し合いはネットのメーリングリストで行なわれ、会う必要がでると東京で会議が行われたが、コース設定や何回も練り直された進行表、作曲や会計、ブログやデザインワーク、出店者調整から備品まで、準備は、全国に散らばっている委員が家に持ちかえって行なったのだ。私は開催直前の現地確認の合間に、委員たちが不忍池のほとりで「当日何を着るか」でさんざめき、衣装が次々持ち出されて路上が試着室になり、その場でサイズ調整していた光景が忘れられない。

女性は、横にいる女性と笑いあうだけで元気になる。必要な物はその手で作りだし、前に進むことができるのだ。



撮影 島田恵

「いのちの進行」は賛同金とカンパで作られました。

横断幕などは残してあります。

貸し出し希望の方はご連絡ください。

● メール inochi511@yahoo.co.jp

● 「女たち・いのちの進行」ブログアドレス

<http://inochi511.seesaa.net/>